

「もっす」通信

2015年 中村亨「もっす」通信:NO. 14号
連絡先:020-0853盛岡市下飯岡3-22-1
TEL019-658-1111FAX019-658-0505
メールアドレス tohru.nk@gmail.Com

発行2015年4月「市民連合」(盛岡市議会議員)中村とおる議会活動報告



春と言えば桜の開花、新たな環境の中で心躍る方々も多くおられると思います。

一方、花粉症の方は、外出時を含め、マスクが離せない季節でもありますね。

「もっす」議会活動報告をご覧になって頂いている皆様、市制に対する要望・意見等がございましたらお気軽にお寄せください。

3月定例会での会派代表質問登壇状況



この議会活動報告の作成に関する経費は、政務活動費を充当しております。

3月定例会での、私の質問の中で、今回の活動報告で記載できなかった質問をピックアップ。

復興推進の取組方針(再生期編)の今後の事業について、盛岡広域経済戦略策定の中身について、地元中小企業等の支援について、空き家対策について、農林業の施策について、キャリア教育について、いじめ対策について、子どもの貧困・児童虐待を防ぐ取組。

3月定例会は2月24日～3月25日までの20日間の会期で行われ、本会議初日には、市長、教育委員長から所信表明が行われ、その所信表明に対して、各会派からの代表質問が行われますが、私も会派を代表して登壇いたしました。(上記写真)

市長提出議案51件の内、第1号議案平成27年度盛岡市一般会計予算は、1,113億3千万円と平成22年度から6年連続1,000億円を超えた予算編成となっています。

予算の中では、「戦略プロジェクト」が打ち出され、(子育て応援プロジェクト)には20億9,992万円、(きらり盛岡おでんせプロジェクト)には2千977万9千円、(いわて国体おもてなしプロジェクト)に21億5,756万7千円と新しい盛岡市総合計画では、より効果的に計画を推進するため戦略的に取り組むべき事柄として事業配分がされた。

市長・教育委員長の所信表明に対する私の「代表質問」要旨



平成27年3月11日盛岡歴史文化館前の中庭で行われた東日本大震災から4年目の牛乳パック等で作られた行燈。当日は風が強クロウソクの火が消えたり、風で行燈が飛ばされたりボランティアの方々も寒い中大変ご苦労されておりました。



「市長選4選出馬」と「安全保障法制」について

質問 4選目出馬を正式表明されたが、地方行政の首長は、長く首長を担うことで、首長の専制化が起こり、側近政治により職員士の士気が低下し、行政組織が硬直化するという懸念があるがどうか。

市長答弁 住民参画の行政運営を基本とし、人事評価・能力開発の視点に立った人事配置、行政課題にその都度柔軟に対応できる組織編制等の対応により、懸念を払拭できるものと存じております。

質問 安全保障法制に係る安倍政権の動きに対してどのように受け止めているか。

市長答弁 自衛隊の活動範囲や支援対象の拡大などについて、懸念や慎重な議論を求める声があり、私としては、憲法の平和主義の原則を堅持していくことが重要であり、国民の間で広く議論され、国会で十分な審議を尽くす必要があるものと存じております。

国の緊急経済対策2014年度補正予算について

質問 政府は、「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」を予算化し、地方活性化のための「地域住民生活緊急支援のための交付金」の創設で、総額4千200億円を計上した。他にも地域再生戦略交付金50億円、創業・第二創業促進補助金50億円、ふるさと名物応援事業40億円なども計上された。同補正予算での「まち・ひと・しごと創世関連事業」は、合計59事業・総額3275億円にのぼり、さらに、2015年度予算案には「まち・ひと・しごと創世関連事業」は、合計139事業、1兆3千991億円が計上されている。このことで当市として、地域住民生活緊急支援のための交付金に係る実施計画の策定状況と盛岡として取り組む各種事業はどのようなものがあり、交付金の上限額は。次に地方版総合戦略の策定に関し、市民や産学資金からの意見をどう盛り込むのか。

市長答弁 実施計画は、現在策定中であるが、地域消費喚起・生活支援型の交付金については、被災者支援型、生活支援型及びプレミアム型の盛岡地域振興商品券発行事業、また、地方創世先行型の交付金については、総合戦略策定事業、少子化対策、子育て支援事業、地域経済好循環推進事業、U・Jターン就職支援事業などを盛り込むこととしております。また、交付金の上限額は、地域消費喚起・生活支援型が4億4千585万8千円、地方創世先行型が1億4千44万2千円であります。総合戦略の策定に当たっては、結婚・出産に関する意識調査やU・Jターンに関するアンケートを行うとともに、新たに設置する各方面の有識者で構成する懇話会の意見や市議会からの意見をお聞きし、内容を取りまとめたいと存じております。

医療・介護・介護予防・生活支援等について

市長答弁 高齢者が出来る限り住み慣れた地域で生活できるように、在宅医療・介護コーディネート事業の実施や、円滑に退院に資する連携体制強化、在宅医療を担う人材の確保・育成などについて、盛岡医師会や盛岡歯科医師会、県などの関係機関と連携しながら、地域の特性を踏まえて取り組んでまいります。次に移行期間の取組については、平成27年度に包括ケアシステムの構築に向けたモデル事業を実施し、その結果を踏まえ、担い手となる事業者等の発掘や効果的な支援・育成策などを検討するとともに、他都市の事例なども参考にしながら、本市の強みを生かした質の高い事業を29年度までに実施して参ります。

質問 低所得高齢者が増すなかで、核家族化によって家族・親族による援助や地域でのつながりが希薄となり、地域によっては過疎化が進行し、「自助」や「互助」を基本としたシステムの構築は難しい状況にあり、地域の特性を重視し、真に住民の生活を支え、誰しもが安心して生活が続けられるよう盛岡市としての医療・介護施策の強化と、あわせて住民の自発的な地域支援活動について、どのような施策を展開されていくのか。また、要支援者1・要支援者2の「訪問介護」と「通所介護」が保険者である市町村が行う「新しい総合事業」に移行するが、使い勝手の良い「訪問介護」と「通所介護」は、独居や老々世帯、認知症の人や家族の生活を支え、訪問介護予防の役割を果たしてきたと思うが、移行までの今後3年の間において、どう取り組んでいかれるのか。

認知症対策について

市長答弁 認知症は、早期診断と早期対応が重要であり、これまで、認知症セミナーや認知症サポーター養成講座を開催してきたほか、盛岡医師会と協力しながら「物忘れ検診」などの事業に取り組んでいるところでもあります。今後におきましては、平成27年4月から、市に認知症地域支援推進員を配置し、認知症に関する関係機関との調整を行い、28年4月からは、認知症初期集中支援チームを設置し、初期段階での対応の充実を図るとともに支援の内容を体系的に示した「認知症ケアパス」を作成、普及を図ります。

質問 認知症は誰もがなりえる脳の病気です。正しい知識と理解、家族や地域の見守りや声掛けが必要です。認知症を正しく理解するための啓発活動や認知症サポートの養成、認知症予防の充実が求められ、認知症の中には、原因となる病気の治療をすることで、症状が改善したり、進行を遅らせたたり、治すことができるものもあります。早期発見への情報提供、相談窓口の充実、かかりつけの医療機関への支援も必要と思うが、今後の認知症への取り組みについて伺う。



被災された市町村名が書かれた行燈もありました。



牛乳パックで色々デザインされて素晴らしい出来上がりでした。



こちらはとてもカラフルな色で三角柱の行燈で、台の上にきれいに並び、ロウソクの火がつけられると色とりどりの灯りが揺らめいておりました。

簡単な衣類の手洗いができる洗い場と洗濯機が設置されておりました。

リラクゼーションルームも完備。



ケアハウス内の各部屋の内装や家具全部違いを出しておりました。



横浜駅前の商店街ビルでは、全館で盲導犬、介助犬、聴導犬で入店出来る案内が各フロアに掲載。

子ども・子育て支援窓口の一本化について

質問 子ども・子育て支援新制度」は、子ども・子育て関連3法」に基づいて本格実施されます。同法は、質の高い幼児期の学校教育、保育の総合的な提供」、保育の量的拡大・確保、教育・保育の質の改善」、地域の子ども・子育て支援の充実」を目指しておりますが、認定こども園、幼稚園、保育所、小規模保育3種類、家庭的保育、事業所内保育、居宅訪問型と種類は多いものの、利用者が希望する施設が必ずしも確保されるとは限らないのではないかと。さらに子ども・子育て支援に関して、妊娠・出産、こどもの健康・発達、保育、幼児教育・義務教育、児童福祉など総合的包括的な対応ができるよう窓口の一本化について検討すべきではないかと。

市長答弁 子ども・子育て支援に関する総合的・包括的な窓口の一本化についてであります。国の まち・人・しごと創生総合戦略」では、妊娠期から子育て期にわたる総合的相談支援を提供するワンストップ拠点として「子育て世代包括支援センター」を整備することとしており、市におきましても、同センターの設置について、策定中の支援事業計画に盛り込むこととしており、多様なニーズに対して、切れ目のない」かつ「細やかな」支援が行える包括的な対応窓口の早期整備に努めたい。

主要地法道盛岡和賀線盛岡・羽場工区開通

平成27年3月21日(土)盛岡市大宮地内において開通式が行われ、私も地元町内会の代表としてテープカットを行いました。(写真右端) 計画延長3,380m、車道幅員13m(4車線)歩道両側4.5m事業期間が平成12年度～平成27年度。盛岡を起点として矢巾町、紫波町、花巻市を経由して北上市に至る幹線道路で物流・交流や連携を支える役割を果しているほか、災害時おける緊急輸送道路にも指定されている路線となっています。

